

KOIZUMI

小泉産業株式会社

発行：2025年6月

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7

<https://www.koizumi.co.jp/>



この製品は、適切に管理されたFSC®
認証林およびその他の管理された供
給源からの原材料で作られています。



この印刷物は、石油系溶剤を
含まない「ノンVOCインキ」を使
い、印刷しています。

小泉産業グループ

COMMUNICATION REPORT 2025

コミュニケーションレポート2025

KOIZUMI
— 違う発想がある

(経済価値・社会価値・人財価値)

3つの価値の最大化で 時代のニーズに合わせ、 変革を続ける。

小泉産業グループは、創業以来いつの時代も
お客様やお取引先様のニーズを踏まえ、
自らを変革してきました。
その根底にあるのは「三方よし」の発想。
社会に求められる存在であり続けるために
人を育て、お客様を思い、
自分たちにしかつくりえない価値を生み出していきます。

CONTENTS

2	INTRODUCTION
4	小泉産業グループの事業紹介
6	GROUP TOP MESSAGE
7	小泉産業グループ・ビジョン2030 KGV2030
8	小泉産業グループの価値創造プロセス
10	コイズミ照明株式会社
10	TOP MESSAGE
11	TODA BUILDING
12	Osaka Metro 中央線 夢洲駅
14	ポートレース津 4・5F
15	WITH THE STYLE FUKUOKA
16	コイズミファニテック株式会社
16	TOP MESSAGE
17	学習デスク実例紹介
18	株式会社ハローリビング
18	TOP MESSAGE
19	ジオガーデン千里中央
20	株式会社ホリウチ・トータルサービス
20	TOP MESSAGE
21	サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート
22	コイズミ物流株式会社
22	TOP MESSAGE
23	食品の出入荷・倉庫管理業務
24	SDGsへの取り組み
28	小泉グループの歴史
30	小泉産業グループ価値創造のあゆみ
32	KOIZUMIブランド
34	小泉産業グループ概要

報告対象組織

本レポートでは、持ち株会社である小泉産業(株)と国内事業会社
5社、合計6社の取り組みについて報告しております。対象となる
会社は以下の通りです。

■ 小泉産業(株)	■ コイズミ照明(株)
■ コイズミファニテック(株)	■ (株)ハローリビング
■ (株)ホリウチ・トータルサービス	■ コイズミ物流(株)

報告対象期間 2024年4月1日から2025年3月31日まで(当社2024年度)
※2025年4月1日現在

空間創造の幅広いニーズに グループ力で応える

住まいから働く場所まで。

その空間づくりにかけるお客様の思いに寄り添い、グループの総合力でお応えする——
それが、小泉産業グループの使命です。

人々の暮らしや仕事に関わるあらゆる場所に、コイズミの技術と商品が息づいています。

コイズミ照明株式会社

照明で省エネと 快適空間を



空間づくりにおける照明設計と、照明器具の企画・開発を、住宅・店舗・施設の各領域で展開しています。お施主様のご要望に寄り添うご提案を行いながら、最先端の技術を駆使したスマートな照明環境の創造に取り組んでいます。

KOIZUMI
— 違う発想がある

小泉産業グループ

コイズミファニテック株式会社

子どもの健やかな 成長を応援

50年以上にわたり学習家具を展開しています。学習デスクをはじめ、全てのライフステージに合うデスク家具事業、理想の眠りを追求したスリープテック事業の2つの事業を展開しています。



株式会社ハローリビング

ワンストップで快適な 空間づくりをサポート

住宅・店舗・施設市場において、あらゆるインテリアエレメントの商品調達・提案・販売・施工を通じてお客様の暮らしに快適さと心地よさをお届けします。



コイズミ物流株式会社

安全で高品質な 物流サービス

小泉産業グループ内外の幅広いお客様に物流ソリューションを提供しています。社員一人ひとりが物流のプロとして高品質なサービスを提供し続けることで、お客様からの厚い信頼を築きたいと考えています。

株式会社ホリウチ・トータルサービス

施設を仕上げる セットアップ事業

ホテル・オフィスをはじめとしたさまざまな施設を対象に、什器や家具のセットアップ事業を展開しています。事業のベースとなる人材育成に取り組みつつ、業態や取扱商品の拡大にも力を注ぎ、事業の成長を目指します。



GROUP TOP MESSAGE

「三方よし」の精神を軸に
社員、お客様、社会にとって
価値ある存在を目指し続けます



小泉産業株式会社
代表取締役社長
矢本 博康

1956年11月生まれ。兵庫県出身。1977年小泉産業株式会社情報システム部入社。2017年より同社にてグループ経営に携わる。2019年コイズミファニテック株式会社代表取締役社長。2022年小泉産業株式会社常務取締役。2023年より現職。

「3つの価値」の最大化を目指して

2024年度、私たちは既存事業のさらなる成長を目指すとともに、未来を見据えた新たなビジネス領域にも挑んできました。外部環境が大きく変化する中でも、その中に潜む可能性を見出し、新たな価値を創造する。そうした姿勢を貫くことで、次の成長のステージへと歩みを進めています。

2025年度も、「経済価値」「社会価値」「人財価値」の「3つの価値」の最大化を重点方針に掲げ、グループ全体で取り組みを進めてまいります。

まず「経済価値」の向上に向けては、グループ内外の連携を強化し、デジタル技術の活用によって業務効率を高め、生産性の飛躍的向上を目指します。また、既存事業とのシナジーが期待できる領域での事業提携も積極的に検討してまいります。

「社会価値」の面では、KOIZUMIブランドの持つ想いを全社員があらためて共有し、日々の業務の中で体现していくことで、社内外から信頼され、誇れる企業文化を築いてまいります。その実現のためには、社外へのアウトワーブランディングと、社員の心に響くインナーブランディングを



意識しながら進めることが重要です。

そして「人財価値」の向上においては、社員一人ひとりのスキルアップを支援するリスキリングの推進や、未来を担うリーダーを育成するサクセッションプランを継続的に実施します。さらに、働きがいのある職場環境づくりを通じて、社員が安心して能力を発揮できる組織を目指します。

時代の変化を捉え、挑戦を続ける

2030年のビジョン「KGV2030」は、「絵に描いた餅」で終わらせるのではなく、確実に実現していくべき未来です。そのためには、今をどう動くかが極めて重要です。バックキャストの視点で、5年後の理想から現在の行動を導き出し、具体的なアクションを積み重ねてまいります。

来年、小泉グループは創業310周年を迎えます。この歴史は、常に時代の変化を捉え、挑戦を続けてきた証です。私たちはこれからも、「三方よし」の精神を軸に、お客様、社員、そして社会にとって、価値ある存在であり続けることを目指して歩み続けます。

KGV2030に向けての ロードマップ

キーワード

将来の成長領域を見極め、積極的な経営資源の投下

新たな価値創造に向け
チャレンジする組織風土の醸成

ビジネスを通じたマテリアリティに
対する取り組みの実践

多様な人材、多様な働き方による
パフォーマンス向上

小泉産業グループ・ビジョン2030

KGV2030

経済価値 × 社会価値 × 人財価値の最大化

基本方針（2024～2026）

人にこだわり、
グループ各社の持続的成長と新たなビジネス領域の創造で
3つの価値を最大化する

重点方針（2024～2026）

経済価値 売上高、経常利益、経常利益率を高める

新規事業創造 デジタル活用 既存事業・収益性強化

社会価値 社会貢献、環境配慮、倫理経営、
多様性尊重、社会的責任を実践する

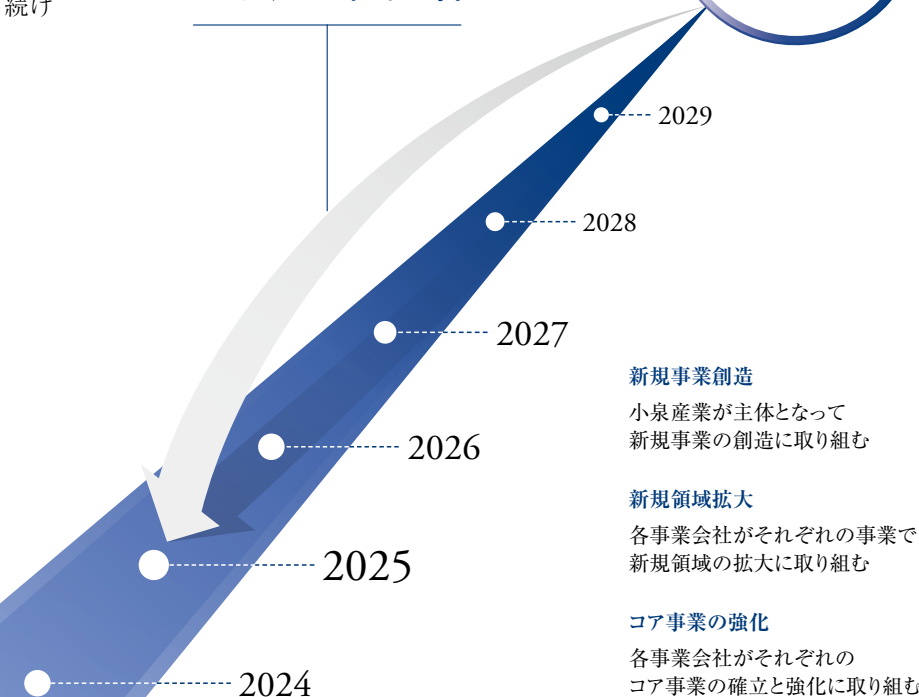
SDGs推進 ブランド価値向上

人財価値 組織の競争力向上、イノベーション促進、
労働力の効率的な運用、従業員の満足度向上に取り組む

安全・健康 生産性向上 スキルと能力向上 後継者育成

バックキャストで 新たな経営計画を策定 成長戦略

目指す姿
GOOD
COMPANY
2030



外部環境

政治

経済対策

政治的不安定性

国際関係

ウクライナ・
ロシア紛争長期化、
中東情勢の混迷

経済

経済成長率

米国トランプ政権による高関税、
倒産増加

インフレ

原材料・エネルギー価格高騰、
人材不足、人材の流動化

為替・金利

ドル高止まり、国内金利上昇

社会

人口構成

少子高齢化

消費者の価値観

消費の二極化
(節約消費と高額消費)

社会的責任

気候変動、カーボンニュートラル、
脱炭素、災害リスク

技術

技術革新

生成AI、ロボティクスの進化

DX

データ分析・利活用

インフラ

ウェアラブルデバイス、リモート、
IoT、センサネットワーク

マテリアリティ

多様性の拡大・
持続可能性向上

カーボン
ニュートラル・
グリーン調達の
実施

働きがいのある
環境づくり

KOIZUMI 価値創造プロセス

インプット

財務資本

純資産

24,179百万円

自己資本

23,293百万円

自己資本比率

61.1%

人的資本

グループ従業員数 (2024年4月現在)

1,408人

製造資本

生産委託先数

65社

社会関係資本

グループ主要取引先数

約1,800社

自然資本

Scope1～3における
GHG排出量算出

約324,000t

知的資本

照明計画・照明器具企画、
開発・製造・販売のノウハウ

家具の企画開発・製造・
販売のノウハウ

物流3PLのノウハウ

インテリアエレメントの
商品調達・提案・販売・
施工のノウハウ

ホテル・商環境・オフィスの
FF&E、OS&Eセットアップの
ノウハウ

SPIRITS 1 進取の気性

物流事業

ビジネスモデル

セットアップ サービス事業

SPIRITS 2 「人格の育成向上」を ベースにした 商道德と社員教育

照明事業

SPIRITS 4

お客様を思う姿勢、
粘り強さ、積極性、情熱、
アイデアとセンス

家具事業

設備機器販売・ 施工事業

SPIRITS 3 特殊特徴品 主義

アウトプット (成果)

最先端の技術を駆使したスマートな照明環境

未来の生活・成長・環境を応援する家具

空間づくりのための商品調達・提案・施工の
ワンストップサポート

ホテル・商空間・オフィスのセットアップ・一括管理

最適な物流システム構築のサポート

経済価値

売上高

403億円

営業利益

1,639百万円

経常利益

14億円

社会価値

管理監督職女性比率

3.0%

従業員エンゲージメント偏差値

46.6

人財価値

人材開発・研修の総費用

93,000千円

従業員一人当たりの経常利益

1,059千円

アウトカム (効果)

従業員

売り手よし

最大限のパフォーマンスを出せる
働き方の実現と推進

取引先・
お客様

買い手よし

時代の流れとお客様のニーズに応える
「__違う発想がある」の精神で生み出す
商品やサービス

社会

世間よし

300年以上の歴史を乗り越え、次世代につなげる
SDGsを意識したビジネス展開

グループ ビジョン

私たちは、
ゆたかで快適な暮らしを提供する
愛される
「価値創造の専門集団」を
めざします

グループ 経営理念

新しい着眼と
独自の発想で
新たな価値を創造し
人と社会に夢と感動を
つくり出します

小泉産業グループは、進取の気性、
特殊特徴品主義、「人格の育成向上」をベースにした
商道德と社員教育を強みに、照明事業・家具事業・設備機器販売および
施工事業・セットアップサービス事業・物流事業を展開しています。
そして、売り手・買い手・世間よしの「三方よし」で新たな価値を創造し、
人と社会に夢と感動を提供しています。

光品質向上のため データと環境配慮で 進化する事業展開へ

コイズミ照明株式会社
代表取締役社長

佐久間 晋



「Solid Seamless Ambient」の下面に施されたパンチングメタルデザインと、蓋になる部分を特注で作成しました



新しい制御システム「SOL」は、「DALI」の機能を取り入れ、執務室の快適性を向上。専用アプリでの操作も可能にしています

総合力とデジタルソリューションで挑んだ刷新プロジェクト

オフィスビル
TODA BUILDING
所在地：東京都中央区
事業主：戸田建設株式会社 様
設計・施工：戸田建設株式会社 様

物件写真の撮影：宮本真治



〔開発営業〕
コイズミ照明株式会社
田近 拓巳



〔照明制御設計〕
コイズミ照明株式会社
矢野 嘉祈



〔照明設計〕
(LCR 東京)
コイズミ照明株式会社
能海 尚也



木質を基調とした空間設計の特別応接室は、照明器具を主張させずに照度を確保し、全体のバランスを調整しています

■受注までの経緯

「TODA BUILDING」では、オフィス・共用部の照明計画と、2014年から共同開発を進めてきた「SOL」の機能とデザインの刷新についてご相談をいただき、戸田建設様と共に取り組みました。また、サブコン様・代理店様へのフォローも含め、コイズミ照明の総合力を評価していただき、受注に至っています。

■お客様からのご要望と提案

新しい「SOL」では、自然の光を考慮した調光・調色に加え、専用アプリケーションでの操作ができることが設計内容に組み込まれていました。そこで、世界基準である「DALI」でその機能を満たし、器具デザインの刷新については、特注仕様を提案することで、ご要望を実現することができました。

■照明計画・制御計画の工夫

システム天井用のライン照明が新製品化されるタイミングであったこともあり、先行してその仕組みを「Solid Seamless Ambient」に応用することで、意匠性と機能性を兼ね備えることに成功しました。意匠設計担当者様とは、弊社のライティングラボ東京で、納得いただける仕上がりになるまで打ち合わせを重ねました。照明の効果については、照度シミュレーションを3Dで作成し、仕上がりとのギャップを抑えることができました。

戸田建設様はICTを熟知していらっしゃいますが、通常、複数システムが関わり運用方法も刻一刻と変わっていくようなスマートビルにおいては、お客様も全貌を把握するのが難しく、運用イメージを持ってないことも多々あります。そこへ、的確にビジュアル化された資料等を用いて、相互コミュニケーションの役割も兼ねたデジタルソリューション室が関わることで、お客様に安心して意思決定していただくことができます。また、大勢の関与者間で共通認識を育てるため、納品後の齟齬やトラブルを防ぐことにもつながりました。

■お客様からの評価

まず、制御に関して、戸田建設様と動作確認をした段階から、一発で要望通りの動き方をしたことに、高い評価をいただきました。快適で機能的な空間を実現できたことで、「コイズミ照明に依頼して良かった」とのコメントを頂戴しています。今回のようなチャレンジングなプロジェクトを続けることで、さらに知見を深めてまいります。

2024年度は、全国に5カ所開設しているライティングラボを活用した営業活動も本格化し、お客様に満足していただいた手応えを感じています。特に東阪のラボで開催した内覧会では、独自性のある製品や制御システムの紹介を通して、照明のトレンドや手法、創造性を体感していただきました。また、エリア別内覧会では、全国10カ所で「akari CUBE24」を開催しました。

国内のみならず海外にも多くの製品を納入しましたが、ぜひ注目していただきたいのが、大阪・関西万博の玄関口となる夢洲駅です。当社のライン照明「Solid」シリーズを使った光の演出が採用され、世界中から集まるお客様に未来感のある空間を体感していただいています。

2025年度は、基幹システムの再構築を完了し、データに基づいた事業運営を本格的に開始します。長期を見据えた在庫管理や受注管理もできるようになることで、生産性向上にもつながると考えています。地政学リスクも高まる中、確実にお客様満足度を高められる体制を整備し、事業ポートフォリオもデータに基づき、市場ニーズに合わせた事業展開を行い、住宅、店舗・施設向けの商品力、営業

力強化によるシェアアップを目指します。

一方で、事業成長とESG経営の両立も重視します。メーカーである私たちが取り組むべきことは、カーボンニュートラル実現に貢献する環境配慮型製品の開発です。当社では以前から開発担当のKPIにCO₂排出量削減を設定するなど、環境配慮を前提とした製品開発を行ってきました。省エネ効率を高めることもできる制御システム「DALI」対応器具をはじめ、さまざまな切り口から、照明器具を進化させ、光品質・デザイン・環境配慮にこだわったものづくりを進めていきます。また、そうした開発姿勢や製品を認めていただく外部評価として、SBT（Science Based Targets）認証の取得にも挑戦します。

さらに、新人事評価制度の定着と関連制度の見直しを図り、社員が評価に納得し、仕事にやりがいを感じられる適材適所の人財活用を進めます。成長が期待されるグローバル事業で活躍できる人財や、データを活用し、数字で語れる経営者としての感覚を持った人財を育成。そして、お客様のニーズを満たす商材とともに、空間の付加価値を高められる提案を行ってまいります。

The Year Ahead 2025年度の 展望

データに基づく 事業活動を推進

- 基幹システムの再構築により業務の高度化を図り、SCM体制を強化

サステナブルな 照明器具の開発に挑戦

- SBT 認証取得を目指す
- 環境配慮型製品で照明器具を進化させる

新人事評価制度による 人材マネジメントの推進

- 海外出向人材の計画的な登用と育成
- 適材適所の人財活用



天井一面に立体的に表現された『折り紙天井』。安井建築設計事務所様が設計された、世界屈指の“時間の正確さ”や“きめ細やかさ”などを示す『運行ダイヤ図』と、日本の伝統文化である“折り紙”とを掛け合わせたアルミニウム素材のデザイン。照明を効果的に当て、反射を計算することで、映り込む表情に変化が生まれる空間となり、大阪・関西万博の最寄駅であるOsaka Metro中央線 夢洲駅の象徴的なシンボルとなっています

駅
Osaka Metro 中央線 夢洲駅
所在地：大阪市此花区
事業主：株式会社大阪港トランスポートシステム 様
設計：大阪市高速電気軌道株式会社 様・株式会社安井建築設計事務所 様
施工：大林・熊谷・東急・東洋特定建設工事共同企業体

物件写真の撮影：宮本真治

 [開発営業] コイズミ照明株式会社 生野 大輔	 [開発営業] コイズミ照明株式会社 山田 僚子
 [営業] コイズミ照明株式会社 長府谷 大地	 [照明設計] (LCR大阪) コイズミ照明株式会社 三原 敦子



中央線のカラーであるグリーンを、間接照明器具のライトバーとパネルで忠実に再現し、際立たせています

万博の玄関口を彩る光演出と Solid®が出迎える 圧倒的な駅舎空間

■コイズミ照明にご依頼いただいた経緯

安井建築設計事務所 意匠設計チームのご担当者様から、ぜひコイズミ照明のライン照明「SOLID DESIGN BASE LIGHT」を使ってみたい、というお話をいただいたことをきっかけに、プロジェクトへの参画がスタートしました。すぐに実際の器具をご覧いただくとともに、大阪で開催した弊社の展示会でも具体的な活用方法を提案、採用に至りました。

コイズミのSolidはDALI制御にも対応しているため、動きのある細やかな演出が可能なおことも強みでした。

■お客様からのご要望と提案

設計案は、天井・壁・床と、空間全体にライン照明を用いるものでした。長尺のライン照明で、未来感のある圧倒的な空間を作り出すため、Solidの魅力の一つである“継ぎ目の美しさ”を存分に活かしています。（※床への埋込部分のみ別器具にて対応）

また、壁面の超大型ディスプレイと光を連動させたいというご要望には、DALI制御を使った照明演出をご提案し、採用いただきました。担当者様や関係各所と何度も検討とシミュレーションを重ねたことで、イメージ通りの演出に成功しています。

■照明計画の概要と工夫

本計画では、時間軸に合わせて光の色が変化するように、調光調色機能を取り入れて細かく制御し、始発から終電まで時間に応じた照明演出を実現しました。これにより、快適な空間体験と省エネルギーの両立を図っています。

「大勢の人が行き交う駅舎において、必要な計画照度の確保が必須」という条件のもとで行ったシミュレーションでは、折り紙のように谷や山がある複雑な天井構造を3次元モデルとして作成し、床面のグラデーションも反射率を変えることで、実際の空間を精密に再現して照度検証を行いました。

さらに、超大型ディスプレイとの連動演出においても工夫を凝らし、Solidの光が流れるような動的な演出を施し、駅とは思えない体験価値を創出しました。

また、駅舎特有の振動問題やメンテナンス面での課題についても、実機を用いた検証・説明を重ねながら解決に向けて取り組みました。

■お客様からの評価

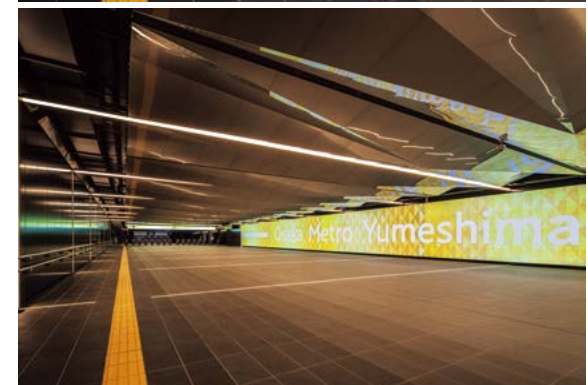
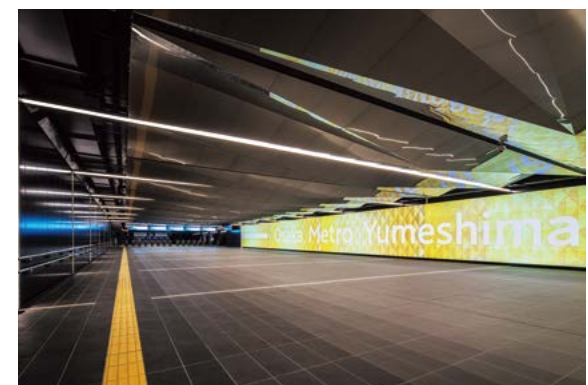
万博の玄関口として新しく誕生するこの駅を、何としても成功させたいという関係者皆様の熱い想いを感じ、それにお応えしたいと、さまざまな提案を試みました。

その結果、「照明演出含め、細かな要望に対応いただいたことで、非常に完成度の高い空間に仕上がった」とのお声を頂戴しています。

また、23～24年度は、Osaka Metroの他駅にも複数の実績を残すことができました。

照明設計担当、開発営業担当ともに、コイズミ照明のブランド価値向上に貢献したいという気持ちが実を結びました。今後もコイズミの光環境を通じて、驚きや楽しさを提供し続けてまいります。

扇形にSolidを配置し、折り紙デザインを強調することで、劇場の出入口のような華やかさを演出



光の演出により、超大型ディスプレイのコンテンツ放映を知らせ、映像を際立たせます。照明演出は、訪れる人々の期待感を高揚させつつ、移動も促す効果を期待した設定に。コンコース空間の色温度を制御することで、地下にいながらも、自然と時間帯を感じられるような設定にしています



“波”をイメージしたルーバーでデザインされた有料スタンド席。天井の照明は、コイズミのSolid Seamless Slimで、ボートが走った後の軌跡となる“白波”を表現しています



大人のための贅沢な癒やし空間が広がる「WITH THE STYLE FUKUOKA」。Barとメインダイニングが一体となり、ニーズやシーンを問わず日常的に立ち寄れるスペースとしてリニューアルされました

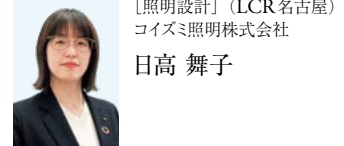
光と演出で魅せる 新しい ボートレース場の 空間づくり

ボートレース場
ボートレース津 4・5F
所在地：三重県津市
事業主：津市
デザイン・設計、制作・施工：株式会社丹青社 様
制作・施工：清水建設株式会社 様

物件写真の撮影：岡村靖子



【開発営業】
コイズミ照明株式会社
森下 育衛



【照明設計】（LCR名古屋）
コイズミ照明株式会社
日高 舞子

※PJ 関与当時

■コイズミ照明にご依頼いただいた経緯

当初、公共プロジェクトの実施設計図面作成協力としてご相談をいただき、その後、関与会社が一堂に会するキックオフミーティングに参加させていただくことになりました。設計担当の方には、これまでの他プロジェクトでの関与を通じて、コイズミ照明の迅速な図面提出対応や、付加価値のある演出提案力を評価していただき、認知されていました。

■お客様からのご要望と提案

ボートレース場を初めて訪れる方々には、レース以外にも満喫したいというニーズがあります。従来の公営競技場のイメージから脱却し、新しい客層を獲得するため、フロア全体を楽しめる空間づくりが求められました。

場内のさまざまな場所には「ボートレースを介した他場にはないアイデア」が盛り込まれており、コンテンツを際立たせる提案で独自性を打ち出していました。

■照明計画の概要と工夫

リニューアル前は、どの空間も均等な明るさだったため、エリアポイントごとに照度を変更しました。また、各所に配置されたディスプレイや、季節ごとに変わるビッグレース、ルーキーレースなど、光・音・映像を使った演出にはアミューズメント性を持たせる必要があったため、仕入先メーカーと協働し、フルカラー照明を採用しています。

有料指定席エリアには、ボートレース＝“波”をイメージしたルーバーが施されることが決定していました。そこへ、ボートが走った後の軌跡となる“白波”を加えるべく、白波に見立てたSolid Seamless Slimを提案しました。他エリアも合わせて、計600本以上のSolidシリーズを使用しています。

■お客様からの評価

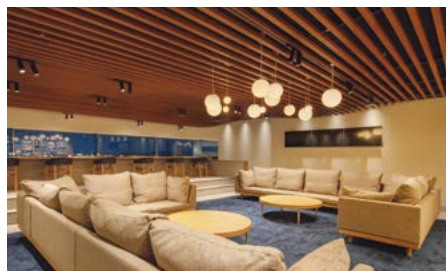
他都府県のボートレース場関係者の方々からも関心が集まっているとお聞きました。設計や現場管理を担当された方々からは、演出を含め、「期待に十分応えてもらえた」との良い評価をいただいています。



思わず写真を撮りたくなる展示ブースにも照明手法が活かしています



重厚感とワクワク感が漂う雰囲気を演出したエントランス



ペンダントライトで落ち着いた空間となったプレミアムラウンジ

光とデザインで 生まれ変わった アーバンリゾート

ホテル
WITH THE STYLE FUKUOKA
所在地：福岡県博多区
事業主：株式会社Plan・Do・See 様
デザイン監修：株式会社TEDDY&Anchor 代表取締役 野田 敏弘 様

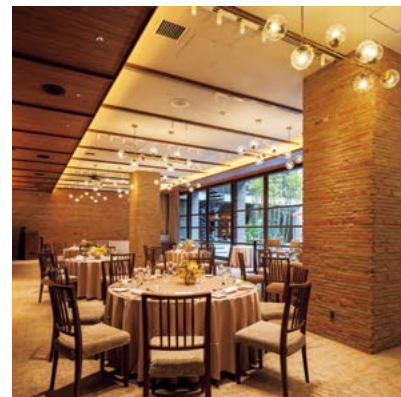
物件写真の撮影：針金洋介



【開発営業】
コイズミ照明株式会社
中村 壮介



【照明設計】（LCR福岡）
コイズミ照明株式会社
木原 美樹



披露宴会場となるバンケットルーム。空間に馴染む器具で演出性とフレキシビリティを考慮して設計しています

■受注までの経緯

博多駅から徒歩5分に位置する「WITH THE STYLE FUKUOKA」は、2024年9月にリニューアルオープンしたホテルです。コイズミ照明は、デザイン監修の野田様とこれまで何度もご一緒させていただいたご縁があり、今回のリニューアル計画でも、野田様からコイズミをご指名いただきました。

■非日常へと誘うためのリニューアル

求められていたのは、改装前のモダンな雰囲気を残しつつ、アーバンリゾートとしてアップグレードしたいというご要望です。野田様も既存空間が持つ雰囲気を大切にしながら、新デザインを検討されていました。既存空間では主に白熱灯を調光して使用されており、赤みを持つ光が空間を魅力的に引き立てていました。新たな照明計画では、その雰囲気を壊さないよう、新たなLED照明と制御システムを取り入れたリニューアルを行っています。

■照明計画・制御計画の工夫

ホテルのエントランスから続くレストランとBarの木貼り天井にはレールを配置し、スポットライトのフレキシブルな光で、通路とテーブル上の明るさを確保しています。間接照明は、色温度を調整することで、照度が低い空間にも自然に溶け込み、空間全体の美しさと快適性を向上させる計画を立てました。Bar・ダイニング空間は、ランチタイムやディナータイムなど、それぞれの時間帯に合わせた雰囲気を引き立てられるよう、「TRee」で照明制御を設定しました。

全体として気を配ったのは、鉛直面に強い光を乗せないことです。光ができるだけ主張しないよう、照明の配置や光の当たり方に特にこだわりました。その上で、視線の先にポイントとして明るさを感じやすい意匠照明を取り入れ、外構の植栽演出の光を屋内からも感じ取れるようにすることで、角の暗さも感じさせない空間照明を目指しました。

■お客様からの評価

訪れる方々に空間を心地よく感じていただき、かつ印象深いシーン演出ができるよう心掛けました。その結果、レストラン・バンケット・チャペル、それぞれの責任者の方々に喜んでいただくことができ、上層部の方々からも「照明が空間の雰囲気を引き立てている」と高い評価をいただきました。

これからもお客様のご期待に応えたいという気持ちを大切に、一つひとつ真摯に取り組んでまいります。



モーニングタイム



Barタイム

コイズミの照明制御システム「TRee」で、モーニングタイムからBarタイムまで、シーンごとに魅力ある空間を演出することができます

営業革新を通じて 未開のマーケットを 開拓する

コイズミファニテック株式会社
代表取締役社長

若林 俊宏



学習デスク事例紹介

学びの時間をもっと楽しく。 選ばれる学習デスク



【営業担当】
コイズミファニテック株式会社
池原 慶介

今回のお二組は、家具の大正堂様の学習デスク催事でご購入いただきました。実際に足を運んで実物を見ていただいたことで、納得、ご満足いただけたのではないかと思います。コイズミファニテックでは、これからも“子ども成長応援企業”として、尽力してまいります。

事例1

I様

(3年生) 関東在住

ロングセラー『BEENO（ビーノ）』のデスクとシェルフ、4ステップチェア、チェアマットをご購入。ウォルナットカラーがリビングの家具とも馴染み、統一感のあるインテリアに



購入されたデスクの お気に入りポイント

『BEENO』は、リビングに置いても違和感がなく、スッキリとしたシンプルなデザインが気に入っています。リーズナブルな学習家具もあると思いますが、やはり見比べると、天然木を使ったものは本物の家具としての風合いや温かみがありますね。コイズミ製品の特長だという“引き出しフルオープン”も、毎日使っていると、やはり便利だなと感じます。

もっと早く買ってあげれば良かった、と思うほど、娘のデスクに向かう時間が増え、環境って大事な、と実感しているところです。

学習デスク購入の きっかけ

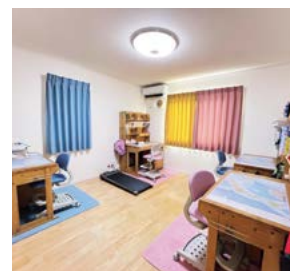
これまではリビング学習でしたが、食事ときに片付けで手間を取ることがあったため、落ち着いて勉強できる環境を整えてあげたいと思い立ち、学習デスクについて調べ始めたのがきっかけです。

事例2

S様

(4年生・1年生・年中) 関東在住

学習専用部屋に4台を設置。お母様も本のカバー掛け作業などをしながら同じ空間でデスクに向かうことで、お子様たちから声をかけられたときも、すぐに応えられるようにしているとのこと



購入されたデスクの お気に入りポイント

事前に別のシリーズを複数チェックしていたのですが、催事場で初めてこの『OD-1 WOODY』を見て、欲しい機能を備えていたことが決め手になりました。収納力も抜群なので、リビング学習で困っていたテキスト類の山積み問題も解消されました。3人ともよく本を読むのですが、デスクに合わせる椅子として選んだハイブリッドチェアは安定感があるので、ソファなどで読んでいたときより姿勢が崩れにくいと感じています。

デスクも椅子も、届いてからというものの毎日活用しています。この先10年15年と、子どもたちの相棒となって大活躍してくれることと思います。

学習デスク購入の きっかけ

リビング学習では、本やドリルがテーブルに山積みになってしまいうことが悩みの種でした。長男が本人の希望で学習塾へ通うことになり、テキストが増えたことも、本格的に勉強部屋の環境を整えることになったきっかけです。この機会にきょうだい全員分を揃えて、統一感のある空間にしたいと考えました。

The Year Ahead 2025年度の 展望

新たな「マーケット」を 創造する

- 子どもたちが「学ぶ場所」「集う場所」「使う空間」市場への提供価値を創造
- 海外販売市場（台湾）の開拓に挑戦

新たな「お客様」を 開拓する

- キッズ専門店、塾教室、幼保などを開拓

新たな「需要」を 開発する

- プロダクトアウト型からカスタマーインへの転換（需要創出／企画営業）を加速
- 多機能家具の付加価値企画を強化

コイズミファニテックは、子ども成長応援企業として、子育て世代に貢献する製品開発やサービスを展開してきました。新製品開発では、学習デスクの「新しいスタンダード」として健康面や、快適性、利便性に優れた電動昇降デスクを2機種発売しました。小学校低学年のお子様からテレワークに使用される大人の方まで、良い反響をいただいています。また、新たなターゲット層である未就学児へ「学ぶ環境づくり」を提唱し、お子様と一緒に成長する可変型デスクを発売し、お客様からも好評を得ています。これらの商品は、お客様とのコミュニケーションを高めるために、SNSを活用したブランド認知活動に注力しています。

2025年度は、学習家具という「モノ」の提供から、「学びの場」における提供価値の創造へと発想を広げ、営業手法を革新し、未開のマーケットを開拓していきます。

具体策の1つ目は、新たなマーケットの創造です。子どもたちが「学ぶ場所」「集う場所」「使う空間」市場への提供価値を創造し、海外販売市場の開拓にも挑戦します。

2つ目は新たなお客様の開拓です。家

具販売店に加えて、ターゲット層のお客様が集まる商業施設や専門店への販路を開拓するほか、教育施設や教場など法人のお客様にも注力します。

3つ目は新たな需要の開拓です。プロダクトアウト型からカスタマーインへの転換を加速させ、多機能家具の付加価値企画を強化します。

また、社員が成長意欲を持ち、仕事の幅を広げながら質を向上させ、「_違う発想」で価値創造することが私たちの使命です。期待するのは、主体的にキャリアビジョンを描き、自ラスキルを磨き、やりたい仕事をする「自律する社員」になることです。そのためにも、会社から教育機会を提供し、キャリア形成における自律支援を行っていきます。

2026年には、学習デスク発売60周年を迎えます。コイズミでは、1966年の学習デスクの販売開始以来、3世代にわたり子どもたちの健康と安全を第一に考え、快適な学習環境づくりを目指してきました。これからも子どもたちの快適な学習環境の価値を創造し、提供してまいります。

提供価値の最大化と 最適化により、 一目置かれる企業に

株式会社ハローリビング
代表取締役社長

上原 正人



The Year Ahead 2025年度の 展望

ソリューション事業の
構成比を高める

新規開拓の活動に注力

照明・エアコン以外の
商材にも注力

収益力の向上

内部統制の強化、
エンプロイー
エンゲージメントの向上

2024年度も継続して「売り方」「売るモノ」「風土」の3つのかえるを実践し、成果を残してきました。「売り方」の変革においては、住宅・非住宅分野ともに、担当者・責任者・経営層による攻めの三層営業に取り組むことで、複数の大手企業様との取引を開始しました。いずれも蛍光灯中止を切り口に、空間そのもののご提案も行っています。住宅分野においては、将来的に新築物件が減少傾向にあることを考慮し、リフォームに注力してきました。照明器具の提案を強みに、ヒアリング、コーディネート、施工の一気通貫を目指します。「売るモノ」については、照明器具、エアコン、内装材、家具などの販売に加えて、SDGsやウェルビーイングに寄与する商材、例えば、EVの充電装置や空気清浄機、高機能なシャワーヘッドなど、付加価値の高い商材の提案を進めてきました。今後、さらに施工やコーディネートという無形商材へも幅を広げ、ポートフォリオの健全化を図ることで競争力を高めたいと考えています。「風土」については、エブリデカジュアルの導入や社員がお互いに感謝を送り合う社内コミュニケーションツール「THANKS GIFT」を導入しています。また、エンゲージメントを高めるため

には会社のVISIONを共有していることが重要です。そのため、各部門長が自分の言葉で思いを語る場を設けました。

2025年は、5つの重点方針を掲げ、3つのかえるを加速します。1つ目は、ソリューション事業の強化です。非住宅の中でも当社で培ったノウハウを活用できる病院や介護老人保健施設、幼稚園、オフィスのフリースペースなどに取り組みます。2つ目は、新規顧客の開拓です。営業担当者の意識改革を進め、三層営業で新たなお客様を開拓します。3つ目は高付加価値商材の開拓です。SDGsやウェルビーイングに資する新しい商材をお客様に届け、施工力やコーディネート提案も発揮してまいります。4つ目は、お取引先様との相互成長を目指し、業務効率を高めることで収益力を向上させます。そして5つ目は、風土改革です。内部統制を強化し、社員一人一人の声に耳を傾け、全員が活躍できる職場を目指します。

当社は、小泉産業グループの中で最も伸びしろがある会社だと自負しています。体制を整備し、2030年に売上50億円という目標を達成するための準備も整いました。2025年は大きくジャンプし、変化の年にしたいと考えています。



LDK空間だけでなく、玄関から続くシューズクローゼットにも家具・小物をコーディネートしています

お客様と共に創る 理想の住空間 コーディネート

■ハローリビングにご依頼いただいた経緯

阪急阪神不動産株式会社様からは、これまでのモデルハウスのインテリアコーディネート実績を高く評価していただき、「ジオガーデン」シリーズでもお声がけをいただきました。

今回は、建築着工前の計画段階から参画し、建具やクロス、床材のカラー決定など、インテリアの枠を超えた協業を実現。多くのアイデアを採用していただきました。

■ハローリビングならではの強み

ハローリビングは、インテリア商材や住宅設備機器の取り扱いはもちろん、それらを活かしたソリューション提案や、コーディネート力を強みとしています。また、同じグループのコイズミ照明と連携し、住宅に欠かせない照明計画や、器具提案についてもサポートできる点が大きな特徴です。

お客様のイメージを最大限に表現するため、限られた人員数や時間を楽しさとやりがいに変え、共に空間を作り上げることを大切にしています。

■お客様からの評価と今後の展開

「今回も期待以上の仕上がりがだった」とのお言葉をいただき、現在も別エリアで建築中の物件についてご依頼をいただいています。

お住まいになる方々の笑顔を思い浮かべながら、空間コーディネートのスペシャリストとして、今後も実績を重ねてまいります。

新築分譲戸建のインテリアコーディネート
ジオガーデン千里中央
所在地：大阪府豊中市
事業主：阪急阪神不動産株式会社 様



〔ソリューション営業兼
インテリアコーディネート〕
株式会社ハローリビング

池元 柚紀路



〔インテリアコーディネート〕
株式会社ハローリビング

小澤 歩果

ファーストインプレッションを磨くための 「スタイリングセミナー」を導入

■取り組みの経緯

ハローリビングでは、2024年度から、スローガンである“Be the Change!!!”を実践するべく、専属スタイリストから学ぶ「スタイリングセミナー」を導入しています。

ハローリビングの皆様は、少し装いが“控えめ”な印象がありました。今後BroC案件を増やす上で、選ばれるための「決め手」が必要と考え、初対面の商談では説得力のあるハッキリした色味を意識、といったアドバイスなどを行ったところ、赤いネクタイとチーフで臨んだらその場で契約につながった!といったうれしいご報告もいただきました。相互に服装を褒め合う空気も生まれ、スタイリスト目線から見てもビジネスコーデのレベルが向上。服装への自信を感じる方が増加し、上原社長の「一人ひとりが自信を持つ」という目標の達成が、ひいては顧客満足にもつながると確信しています。



オーダーメイド
スタイリスト

ひろゆき
神崎 裕介氏

プロフィール

「期待感を減らさず、仕事もプライベートも上手くいく」をポリシーとし、個性が伝わるスタイリングを提案。メディアへのスタイリングも多数提供しており、フランス大使館でのセミナーに登壇するなどバリエーションも深い。その他企業の社員ファッション研修、芸能事務所タイタンの養成所講師等、ファッションの力で社会の役に立つことを目標に活動している。

組織力を向上し、 高い技術力と誠実さで お客様に感動を

株式会社ホリウチ・トータルサービス
代表取締役社長

熊野 裕章



ベネチアを彷彿とさせる内装や調度品で彩られたクラシカルでモダンな居室。1. ロイヤルスイート、2. ラグジュアリースイート、3. クラブスイート。
ホリウチは各居室へ家具の搬入とレイアウト設置を行いました

The Year Ahead 2025年度の 展望

安全安心の最大化

- “安全は全てに優先する”を
実践
- 無事故・無災害の現場達成

経済価値の最大化

- 自社運送の強化や
都内倉庫の再整備、
グループシナジーの強化により
高収益企業を目指す

社会価値の最大化

- 産業廃棄物の減量と
リユースの推進や働きやすい
環境の整備により選ばれる
会社へ

人財価値の最大化

- 東京3事業所統合により、
組織力を向上
エンゲージメントを向上

ホリウチ・トータルサービスは、ホテルのFF&E（家具・什器・備品）、OS&E（消耗備品）の搬入管理・施工業務、オフィス、商環境の搬入・設置・施工業務において実績を重ねてきましたが、2024年度は、ホテル業界に特化した営業開発室によるマーケティングや先行営業が功を奏して受注を拡大し、2024年度に開業した多くのラグジュアリーホテルに関与するなど、増収増益を継続することができました。さらに、ホテル、オフィス、商環境に次ぐ第四の柱として、ハイエンドレジデンスの家具やアートの搬入管理業務の対応も始めました。ラグジュアリーホテルでの経験で培った高い技術力とノウハウを活かし、新たな領域として確立したいと考えています。オフィス、商環境分野においては、什器メーカー様の施工店として、特に新潟や金沢では多くの実績を残すことができました。引き続き全国各地で什器メーカー様のご要望に応えられるよう、体制を強化してまいります。

2025年度は、経済価値・人財価値の最大化を目的とし、東京にある3拠点（本社・東京営業所、秋葉原営業所）を品川区五反田に統合移転し、コミュニケーションの充実を図ることで、体制を強化し

ます。そのため昨年度から、秋葉原の拠点が担っていた人材募集の機能を新宿に開設した首都圏募集センターに移管し、平和島の倉庫とトラックターミナルを資本業務提携したグループ会社の新木場の拠点に移転するなど、着実に足場を固めてきました。一方、地方都市においても引き続き拠点を置き、オフィス・商環境分野のお客様のニーズや、インバウンド需要の高まりによるホテル開業の案件に応えてまいります。社員数も、過去最多となる新卒採用、契約社員の正社員への登用などにより拡充しました。福利厚生制度も改訂し、惜しみなく人財に投資していきます。

また、社会価値の最大化に向けて、環境ビジネス推進室を新設し、廃棄物のリユースに取り組みます。オフィスやホテルの家具入れ替えの際に、廃棄に加えて、当社が買い取りリユースするという選択肢をお客様にご提供し、産業廃棄物の減量にも貢献したいと考えています。

今後も、安全安心の最大化を大前提として、経済価値、社会価値、人財価値を全て最大化し、“搬入管理と施工はホリウチに任せておけば安心”と言われるようなサービスを目指します。

会員制リゾートホテル
サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート
所在地：滋賀県高島市
事業主：リゾートトラスト株式会社 様



【搬入一括管理】
株式会社ホリウチ・トータルサービス
倉谷 洋之



【営業担当】
株式会社ホリウチ・トータルサービス
櫻井 教晶



琵琶湖の湖畔に佇む水の宮殿として2024年10月に開業した、会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート」

会員制リゾートホテルの空間づくりを 搬入管理の工夫と信頼で支える

■ ホリウチにご依頼いただいた経緯

リゾートトラスト株式会社様の会員制リゾートホテルである「サンクチュアリコート」ブランドで、最初に開業された「サンクチュアリコート高山 アートギャラリーリゾート」での取り組みをきっかけに、今回の「サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート」もお任せいただけることになりました。その際、搬入一括管理者として、前回担当した倉谷をご指名いただき、そのご期待に応えるべく、管理実務にあたりました。

■ 工程の肝となる搬入・開梱作業

ホリウチが主に担うFF&E工程では、限られた期間内に多数のメーカーが互い違いに作業するため、その第一段階である搬入・開梱（間配り）管理は重要な役割を担っています。混雑や混乱が起こればその後の作業工程に大きく影響するため、管理者として全状況を把握しておく必要があります。確実な指揮命令を行い、作業員も積極的に取り組んだ結果、納期内に無事故で完遂できました。

■ ホリウチならではの工夫と強み

昨今は多くの物件で、ITセキュリティーの観点から、作業現場へはスマートフォンを持ち込めません。「サンクチュアリコート琵琶湖」は、広大な総面積内に全5棟の建物で構成され、作業員と管理者が違う棟にいる場合、即座な対応が困難でした。そこでホリウチでは、各責任者用に無線機（インカム）を導入し、リアルタイムで進捗確認や対応を行えるよう発案。管理者を筆頭に、それぞれが作業品質や安全性、効率化を考えられる人材が豊富なことも、ホリウチの強みといえます。

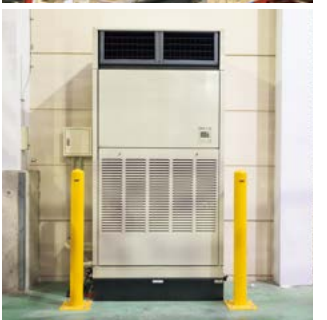
■ お客様からの評価と今後の展開

リゾートトラスト株式会社様からは、「ホリウチは、イレギュラーな事態にも真摯に取り組んでくれる」とのお言葉をいただきました。今後も、これまでの経験と実績を活かし、安全性と納期遵守を最優先に取り組んでまいります。

環境の変化に対応し 最適な物流サービスと ソリューションを提供

コイズミ物流株式会社
代表取締役社長

赤松 長太郎



倉庫内にはファンとエアコンを設置し、温度が一定になるよう空気を循環させています

柔軟なシステムと 快適な倉庫環境が 支える、食品業界への 新たな挑戦

食品の入出荷・倉庫管理業務
所在地：埼玉県春日部市
事業主：丸和油脂株式会社 様



〔業務担当〕
コイズミ物流株式会社
小倉 幹男



■コイズミ物流にご依頼いただいた経緯

丸和油脂様は、主にマーガリンやマヨネーズ、ドレッシング類などを製造・販売し、小袋製品から家庭用・業務用製品と、多岐にわたる商品を取り扱っています。

2024年下期、工場を移転するタイミングで、併設される倉庫に保管し切れない主力商品の入出荷・在庫管理を、アウトソーシングされることになりました。

コイズミの物流システムは、お客様に合わせた柔軟なカスタマイズが可能なため、丸和油脂様とのデータ連携もスムーズに行える倉庫管理業務ができることから、ご依頼いただくことになりました。

■コイズミ物流ならではの強み

コイズミ物流が独自開発した倉庫管理システムは、物流業界で一般的な入出荷・在庫管理・作業進捗管理・送り状発行などの基本機能に加え、お客様ごとの運用やニーズに応じた柔軟なカスタマイズが可能です。市販のWMSでは対応が難しい細かな要望にも応えられる点が特徴です。

さらに、倉庫環境にも配慮し、空調設備を整えた新しい倉庫を活用することで、商品の品質管理だけでなく、社員や協力会社の方々にとっても快適に働きやすい環境を提供しています。このような「ヒト」と「モノ」の両面を大切に作る姿勢が、コイズミ物流の特徴です。

■お客様からの評価と今後の展開

“食”分野での取り組みは、小泉産業グループにとっても新たな挑戦でしたが、順調に稼働しており、丸和油脂様からも「コイズミ物流に任せて安心」との評価をいただいています。「当たり前の管理を当たり前に提供できる」ことを徹底し、今後も新たな分野への挑戦を続け、より多くのお客様からの信頼を高めてまいります。

2024年度、物流業界を取り巻く環境は大きく変化しました。トラックドライバーの時間外労働規制が実施され、また新物流2法が成立するなど社会的にも大きな注目を集めました。それに伴い業界においても価値観の変化・ニーズの変化が起こっています。当社においてもその影響が顕在化し、新規協力会社様の開拓並びに既存協力会社様と物流品質を高める活動を進め、全国輸配送ネットワーク維持に努めました。また、前期に開設した春日部拠点においては、庫内レイアウトの再設計による保管収支の改善、現場運用フローを見直し、荷役デリバリーロスの抑制にあたりました。

一方で、顧客別ソリューション営業を展開し、マーケットイン活動を推し進めたことで、食品業態の荷主様との取引が開始され、販路領域の拡大につながりました。

拠点戦略においても、春日部拠点の全面活用、大阪拠点では外部倉庫による受託拡大、そして福岡拠点では新規荷主拡充を図り、次年度に向けた準備取組を進めました。

人材教育の面では、24年度は成果と連動した階層別研修を実施し、現場力向上、営業力強化につながったと感じて

います。引き続き人材育成活動の強化を進めてまいります。

2025年度は、経営体質強化に向け、3つの取り組みを進めていきます。1つ目は物流サービスの高付加価値化の推進です。物流品質を向上させ、価値転嫁型のサービスを強化し、顧客の課題解決につなげていきます。2つ目は業務体制の再構築です。専門性、効率性を高め、顧客により信頼され必要とされる物流会社の確立を目指します。3つ目は自走する組織、風土改革PJを展開し、自発的に進化する組織風土の構築です。また、新WMS（倉庫管理システム）構築に向けた取り組みも進めていきます。グループ事業会社の新基幹システム移管に伴い、スムーズな移行・構築に対応するとともに、外販顧客物流システム強化のための物流基幹システム第2フェーズの準備も進めていきます。

2025年度も大きな環境変化が続きます。強みを活かし、社員全員が変革・実行する力を発揮しながら、お客様に最適な物流サービスを提案し続けるソリューション企業を目指します。

The Year Ahead 2025年度の 展望

外販を中心とした 事業構造へ変革

- 売上総利益の改善
- 収益体質の改善
- 新規顧客の売上必達

価値転嫁型ビジネスの推進

- グループシナジー強化
- 物流サービスの高付加価値化
- 新WMSの稼働

組織構造の変革

- 営業力の強化
- 現場力の向上
- 生産性の向上

自立型・能動的人材の育成

- 自走する組織づくり
- 人事諸制度の見直し
- 人材教育の推進

社会価値の向上

- ESG経営の推進

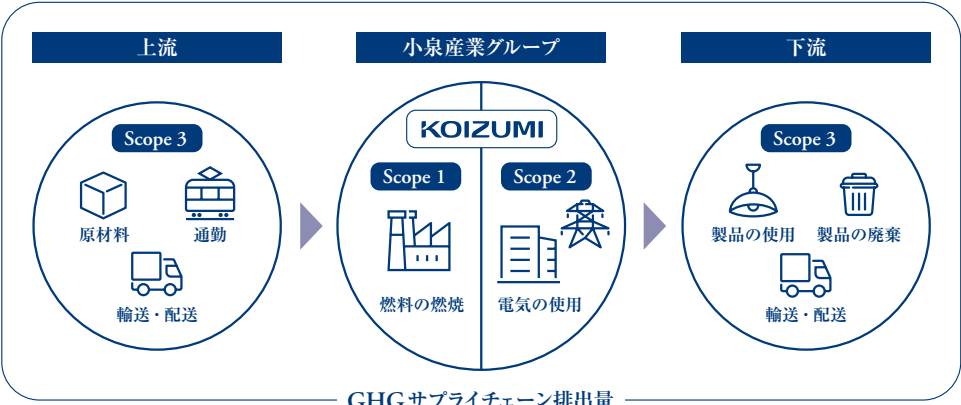
SDGs への取り組み

2030年の
目標達成に向けて
サステナブル経営を
加速



2021年から全社横断的な体制づくりとしてグループSDGs委員会を設置し、2022年には「コイズミSDGs行動憲章」を定め、サステナブル経営をより確実に加速させるため取り組みを進めています。

2024年度は、前年度に顕在化したScope1～3の全領域におけるグループ全体でのGHG（温室効果ガス）排出量の状況（約324,000t/2022年度）を踏まえたリスク分析の結果、各社が取り組むべき削減項目（ホットスポット）を特定。また改めてグループ全体としての2030年達成目標※1を設定しました。今後は目標達成に向け各社における削減計画立案～実施へと進めていきます。またその他にもグループ共通で2テーマ、各社事業領域におけるCSV（Creating Shared Value）視点を含む28の個別テーマを掲げ、積極的に取り組んでいます。



テーマ		目標／指標	2030達成値
グループ共通テーマ	多様性の拡大と 持続可能性を高める 企業文化の醸成	管理・監督職 （室長・課長以上） における女性比率	30% ※ホリウチ・トータルサービス 15% ※コイズミ物流 20%
	2050 カーボンニュートラル宣言に 呼応した グリーン調達の実現	GHG（温室効果ガス） の削減	※1 各社ホットスポット 2022年度比15%以上削減
	働きがいのある職場づくり	エンゲージメントの向上	エンプロイー エンゲージメント値 偏差値 50以上 ／グループ全体平均

G 各社取り組みテーマ数		SDGs 対象ターゲットの状況																
各社個別テーマ	産業	4テーマ	1	1				1						1				1
	照明	5テーマ				2							1	3	2			
	ファニテック	7テーマ		1				3			2	3				2		
	ハロー	2テーマ	2	1				1			1		1					
	ホリウチ	5テーマ		1	1			2	1	1			2		1	1		2
	物流	5テーマ	1					2					2			1		2
	個別計	28テーマ	4	4	1	2	9	1	1	3	9	4	3	4	5			

次頁より一部抜粋して紹介 >>>

小泉産業株式会社

新規事業を創出し、
ディーセントワークを推進



2025年4月に竣工した、新しいスタイルのシニア向け分譲マンション「神戸ジェームス山 中楽坊」では、コイズミ照明とハローリビングがシナジーを発揮しました。今後も新たな市場の開拓を模索しながら、新規事業の創出に取り組んでいきます。

小泉産業株式会社

安心して暮らせる社会のために
休日の社屋を有効活用



「使用していない休日の社屋を、社会のために役立てられないだろうか」との発想で、2009年度から、NPO 法人大阪ライフサポート協会主催の一般市民向け心肺蘇生講習会に、小泉産業本社（大阪市）の会議室を会場として提供しています。

小泉産業株式会社

モノを贈るだけではない、ヒトを通じて心も贈る、デスク・コタツ寄贈活動



海外からのインターン生も組み立てとかるたに参加してくれました



東日本大震災の復興支援として2011年度から始まったこの活動は、2024年度で14年目を迎えました。第5回からは、小泉成器㈱も活動に参加し、これまでに合計43府県、261施設に、学習デスク656台（コイズミファニテック製）、家具調コタツ386台（小泉成器製）を寄贈しています。この活動で大切にしているのは「単にモノを寄贈するだけでなく、ヒトを通じて心も贈る」こと。社員が一部寄贈先に訪問し、子どもたちとコミュニケーションを取りながら一緒にデスクとコタツを組み立て、SDGsかるた等で交流を行っています。

コイズミ照明株式会社

リサイクル素材の採用



Light Bar (ミドルパワー)

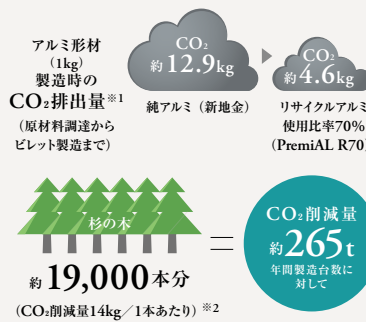
筐体部にリサイクルアルミを使用し、CO₂排出量削減に貢献する環境配慮型製品へとリニューアルしました。

LIXIL PremiAL[®]R70

※「PremiAL」は株式会社LIXILの商標登録です。

※1 IDEA Ver2.1.3をベースに、原材料調達からビレット製造までを株式会社LIXILの基準で算出。IDEA (Inventory Database for Environmental Analysis、国立研究開発法人産業技術総合研究所、一般社団法人サステナブル経営推進機構)は、サプライチェーン排出量の算定に利用可能なデータベース。

※2 杉の木1本あたり1年間約14kg吸収「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省/林野庁資料より



コイズミ照明株式会社

再生可能エネルギーの利用



Integrated LED Solar Light

ソーラーパネル・LED照明・バッテリーがオールインワン設計のLEDソーラーライト。

ソーラーライト導入のメリット

Point 1 電気代0円

太陽光により発電するため、電気代がかかりません。

Point 2 CO₂排出ゼロ

運用時のCO₂排出は無く、環境保護対策としても最適です。

Point 3 配線工事不要

独立電源タイプなので電気工事が不要です。

Point 4 停電対策/安全確保

災害で停電が発生した際、周辺の安全を確保できます。



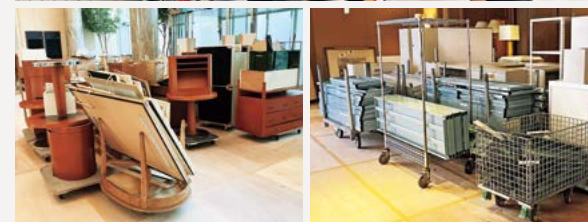
Integrated LED Solar Light



ソーラーパネル・LED照明・バッテリーがオールインワンである為、配線工事が不要!

株式会社ホリウチ・トータルサービス

オフィス什器やホテル家具をリユース



オフィスやホテルのリニューアル・移転時に廃棄される什器や家具を買い取り、リユースできるようにする仕組みを創りました。お客様の負担や産業廃棄物を減らして資源を大切に、環境負荷軽減につなげるための取り組みです。

コイズミ物流株式会社

協力会社様とのSDGs活動を推進



全国の協力会社様とのコミュニケーションを通じて円滑な情報共有を図り、パートナーシップを構築。CO₂排出量可視化セミナーを主催するなどし、SDGs活動を促進しています。

コイズミファニテック株式会社

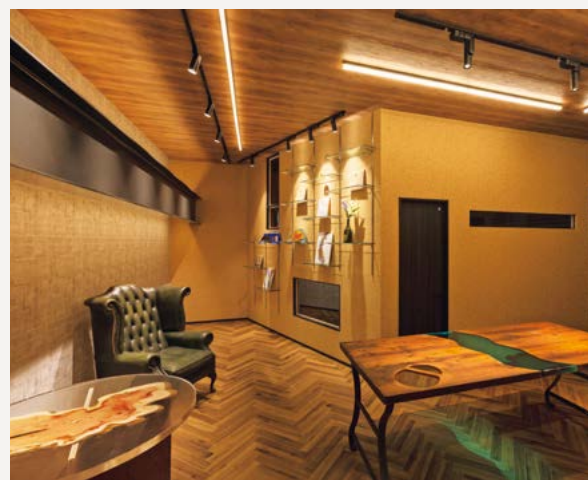
学習デスク廃材を活かしたワークショップの開催



デスクの廃材を活用し、子どもたちに木のぬくもりを感じてもらいながら、自由な発想で楽しめるワークショップを開催。

株式会社ハローリビング

アップサイクル商品の企画開発



単体では商品にならない端材や使い古したテーブルを、他の素材(レジン)と組み合わせることによって、新たなデザインで唯一無二のテーブルに生まれ変わらせています。

小泉産業グループ

使用済み切手寄贈活動



グループの各事業所で集めた使用済み切手をボランティア団体へ寄贈し、途上国の課題解決のための資金補助としてご活用いただいています。2009年度から毎年収集し、これまでに約40kg分を寄贈しました。

小泉産業グループ

地域清掃活動



全国約60カ所の事業所で毎年行ってる地域清掃活動は、今年で15年目となり、昨年度は実施率100%を達成しました。今後も地域社会への感謝の気持ちを込め、継続いたします。



すべての発想の基本

三方よし 1716

「三方よし」をベースに、
「人格の育成向上」による
発展を目指す

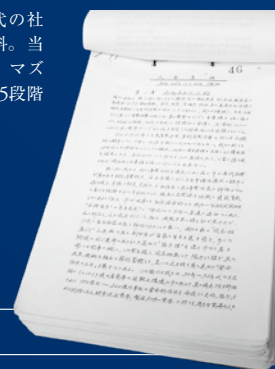
今もなお、多くの企業が経営の手本とする近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」。近江商人をルーツとする小泉産業グループは、その「三方よし」の精神を大切に継承しながら、独自の経営哲学による企業文化を醸成し、300年以上にわたり事業を営んできました。

社章の❖（ミツウロコ）は、得意先、取引先、会社の基盤を築いた先人への感謝を忘れない「三恩主義」の思いを表現。また、企業の永続的な発展の源泉を「ヒト」と捉え、その意味を社は「人格の育成向上」に込め、その本質を継承するための従業員教育を徹底し続けています。



商人道の基本として「人格の育成向上」の浸透に情熱を傾けた立澤四郎専務（左）

昭和20年代の社員教育資料。当時すでに、マズローの欲求5段階説に言及



1716年	創業（近江商人 小泉太兵衛 麻布の行商に出る）
1847年	近江屋新助商店開業
1871年	近代創業元年（大阪 備後町に立木屋森之助商店出店。「創業の精神」ができる）
1904年	小泉合名会社設立（社章❖を制定。社は「人格の育成向上」ができる）
1915年	小泉重助商店発足
1941年	株式会社小泉商店設立（小泉重助商店を法人化）※のちに小泉株式会社に改称
1943年	五光精機工業株式会社設立 ※のちに小泉産業株式会社に改称

小泉グループ

1915年（大正4年）に発足した『小泉重助商店』をルーツに持つ、
現存する小泉グループの各社一覧です。

1941 小泉株式会社

1979 京都小泉株式会社

1983 小泉アパレル株式会社
株式会社イフ／株式会社宮永本店／株式会社i.i.i.
蘇州小泉時装有限公司／呉江小泉時装有限公司／アルバライズ株式会社

2003 コイズミクロージング株式会社
香港小泉有限公司／上海克伊滋米服装貿易有限公司

2004 株式会社オッジ・インターナショナル 現レナウン株式会社

2009 株式会社コスギ

2014 株式会社ギャルソンス

1943 小泉産業株式会社

2006 コイズミ照明株式会社

1991 コイズミライティング株式会社

2002 小泉産業（香港）有限公司

2006 克茲米商貿（上海）有限公司

2009 東莞小泉照明有限公司

2015 コイズミライティングシンガポール PTE.LTD.

2006 コイズミファニテック株式会社

1981 株式会社ハローリビング

2013 株式会社ホリウチ・トータルサービス

1999 コイズミ物流株式会社

1989 小泉成器株式会社

2007 アルファックス・コイズミ株式会社

2016 小泉成器（香港）有限公司

2017 凱基明（深圳）商貿有限公司

小泉産業グループ価値創造のあゆみ

「_ 違う発想がある」
ブランドの強み・らしさの源と現れ

いつの時代にも新鮮な驚きと夢を届けるコイズミの製品・サービス。
これらは常に「枠にとらわれない創造性と革新性」から生まれています。



1947

コイズミ照明機器のルーツ「電気スタンド」

敗戦から2年目、家庭電化時代の到来を予測し、電気生活用品を開発。その一つが電気スタンド。以後、フレキシブルスタンドに始まり、カットスタンドや和風スタンド、そして蛍光灯スタンドへと進化する。



1966

業界初の蛍光灯付き学習机「蛍雪」

高度経済成長で人々の生活にはゆとりが生まれ、モノへの投資のみならず、子どもへの投資・教育熱も高まった。そこに着目し、自社の照明技術を活かした、業界初の蛍光灯付き学習机を発売した。



1967

業界初の試み「照明のショールーム」

昭和40年代には照明を販売する取引先が急増。売り方がわかりづらい照明器具の「売り方提案の場」としてショールームを開設。商品を見るだけでなく、売り場づくりや提案のノウハウも提供した。



1967

料理ができる食卓
クックテーブル「晩餐」

住宅の洋風化でダイニングテーブルの需要が伸びる中、「鍋料理で、ガスコンロの準備が手間」という主婦の声に着目。開発したガスコンロ付きのテーブルは、お客様ニーズにマッチし、大ヒット商品となった。



1976

光を知り尽くした
プロフェッショナルチーム「LCR」

「空間は光が構成する」という考えのもと、早くから照明設計を専門に担う部門LCR（Lighting Creative Room）を設置。商業施設などの先進的な空間を対象に、数々の照明提案を行ってきた。



1978

棚を外せば高校まで
「6・3・3で12年」使える学習机

従来の学習机は、本体と棚の一体型が主流。上級生でも平机として長く使えるよう、棚の取り外しができる設計で開発した新しい学習机は「6・3・3で12年」のキャッチコピーとともに普及した。



1982

動くあかりのショールーム
「ライティング・セボアール」

「現物を確かめてから決めたい」というご要望に応えるため、トレーラーを改造したショールームを特注。「全国津々浦々までショールーム」という発想で、全国のお客様に向け移動展示を行った。



1987

コイズミ国際学生
照明デザインコンペ

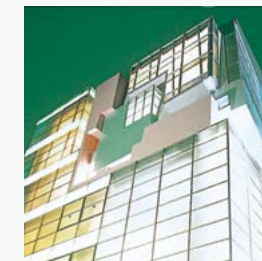
若き人材の育成とあかり文化の普及を目的に、世界の学生を対象とした、世界唯一の照明デザインコンペを創設。以来25回開催し、応募者は延べ42カ国、3万3千人にのぼった。



1988

時代を変えた省エネ照明
「インバータ照明器具」

省エネのトレンドを背景に開発された高効率、静音、瞬時点灯などが特長のインバータ回路。専門メーカーでいち早く商品化に取り組んだ当社は、充実のラインアップでお客様のご要望に応えた。



1990

体感型ショールーム
「コイズミライティングシアター イズム」

従来の「器具のコーディネート」中心の考え方とは一線を画し、ショールームに“体感”の概念を導入。さまざまなシミュレーション装置を導入した設備は、業界に新たな風を吹き込んだ。



2001/2002

照明事業で「ISO9001」
「ISO14001」の認証取得

2001年に品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」、2002年に環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得。品質保証体制と環境経営機能の強化に取り組んだ。



2006

学習机の新しいカタチ
「ステップアップデスク」

「机+上棚」から「机+書棚」への発想転換で、子どもの成長に合わせた自由な使い方を提案。この手法は、翌年の他社新商品でも多く採用された。



2013

LED照明提案型スタジオ「KLOS」

LED照明の最適化提案や最新技術紹介など、お客様との双方向コミュニケーションによる課題解決を目指す場として開設。室内の表情を変えながら施設全体で光のあり方を表現できる。



2014

照明制御の国際規格
「DALI」対応商品の発売

快適な空間を実現する照明制御技術として、大型施設やオフィスで普及が進むDALI。コイズミ照明は、他社に先駆けてDALI対応商品の開発に着手し、発売した。



2017

あかり文化創造拠点
「コイズミ照明 R&Dセンター」 竣工

「あかりの杜」をコンセプトとした、LEDに特化した研究・開発施設兼実践型ショールーム。環境や働き方などにも配慮した革新的オフィスは、お客様からも高評価をいただいている。



2018

照明制御システム「TRee」開発

住宅のIoT化に対応し、家中の照明をコントロールできる「TRee」システムを開発。スマートスピーカーとも連携し、話しかけるだけで、設定したシーンへの変更や調光調色のコントロールができる。



2020

照明専門メーカー初の試み
「BIMデータ」の提供

設計、施工、管理に関連するデータを集積して連携させ、生産性を向上するBIM(Building Information Modeling)。照明専門メーカー初のデータ提供を開始した。



2023

プロユーザー向け施設
「ライティングラボ大阪」オープン

住宅や商業施設、オフィスなどを想定した空間に設置した照明器具の明るさや色、高さや角度をタブレット端末で操作し、図面やカタログからは感じ取れない光の空間を検証できるラボ施設を開設した。

ブランドに込めた私たちの想い

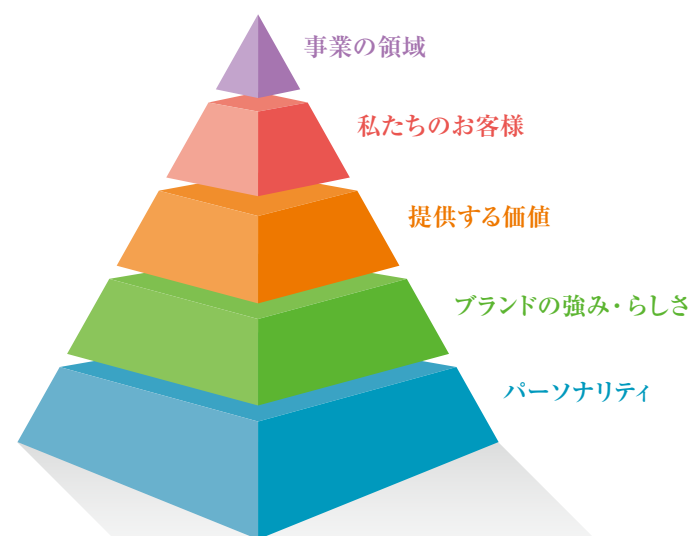
私たちの結束と社会からの信頼の“要”であり、“証”であるブランド。それは時代を超えて脈々と受け継がれる経営理念に根差した価値づくり、お客様の体験から始まる対話。そこからKOIZUMIブランドは成長していきます。

KOIZUMIブランドの本質を明文化

Brand Identity

ブランドアイデンティティ

KOIZUMIブランドの古今東西そして未来からの検討を行い、5つの要素の真髄を削り出して再編成しました。



私たちはどんな **パーソナリティ(人柄)** なのか。

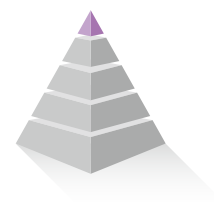
私たちの **強み** はどこにあり、

それを活かしてどんな **価値** を生み出し、

どのような **お客様** に届けるのか。

そしてそれをどの **領域** で実践していくのか。

ハード、ソフト、コンテンツを
新発想でデザインする
生活文化創造業



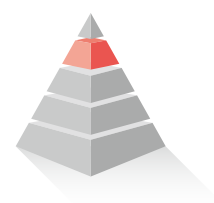
「生活文化創造業」

お客様が日々の生活の中で抱く
「もっと便利に」「もっと快適に」
といった思いをカタチにする仕事

「ひらめき」(革新性)と「ときめき」(感性)で
既存の壁を破り、
感動や快適、愉しさをお届けする

他とはひと味違う、私たち独自の事業領域

今の暮らしを大切に、愉しみながら、
次のステップに行ってみたい
自分なりのお気に入り入りを、
積極的に見つけたい
そんな個性豊かな暮らしと
その進化を求める人々



今の生活が楽しくなっていく

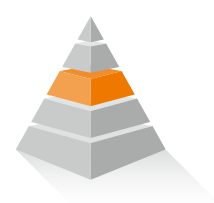
生活が面白くなっていく

生活がやさしくなっていく

際立った発明でなくてもいい

生活を一步先に進める新しい感動が欲しい

小さな革新の積み重ねと
グローバルな視点で
「!(おどろき)」を原点に、
暮らしのブレークスルーを
触発する
「ひらめき・ときめき」を提供



「あ!これいいナ」「なるほどそうだね」
出会うといつもそんな新たな「気づき」を届けてくれる

気づいてみると 急に
ああ、自分が欲しかったのはこれだったんだ
と納得がいく

やさしく、さりげなく、
暮らしを新鮮で、豊かで、いっそう愛おしいものに変えていく

KOIZUMIが届けるのは、そんな「ひらめき・ときめき」

マインドと知の集積=「人間力」
から生まれる
枠にとらわれない
創造性と革新性



創業のころ、全国行商時代の「諸国産物廻し」にみる
商品と市場の融合化の発想

三代目重助が主導した「特殊特徴品主義」

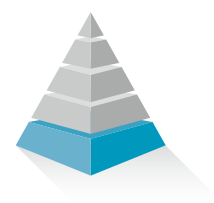
電器、照明、家具開発における複合化の発想

他とは違うこと、新しいことをずっと大切にし、
それを実践し、人々の共感を引き出し、
安心と信頼を育んできた

資本はマインドと知の集積=「人間力」

創造、革新は技術から生まれるだけではない

暮らしへの誠実な視点
(思いやる心、温かみ)と
未知の世界を怖れない挑戦心
発想の豊かさ



人々の暮らしを見守る温かなまなざし

そこから新たな課題を導き出すアイデアの豊かさ

それに洗練された回答を生み出す発想の柔軟性

そして それを実行するバイタリティー

※ KOIZUMIブランドは、小泉成器(株)と「共創」しています。

ブランドアイデンティティを一言に凝縮

Brand Statement

ブランドステートメント

「ブランドの強み・らしさ」を原点に据えて導き出した、
社会への約束であり、社員の合い言葉となるものです。

暮らしには、ひとりひとりに、ゆずれない価値観がある。

けれども、毎日毎日同じでは飽きてしまう。

ふつうのものをいいものに

いいものを、もっといいものに

少しずつ「跳んで」みたい。

KOIZUMIが応援するのは

そんな「ふだん」の中の冒険や遊び心。

暮らしをさまざまな視点から見つめ続けてきたからこそ

暮らしにとってほんとうに大切なところ、

もっと変えたいところが見えてくる。

KOIZUMIが提供するのは、

そんな暮らしに根ざしたイノベーション。

快適に、愉快地に、日常を高めていくためには

しっかりとしたクオリティと

キラリと光るひらめきが欠かせない。

《あ!これいいナ》

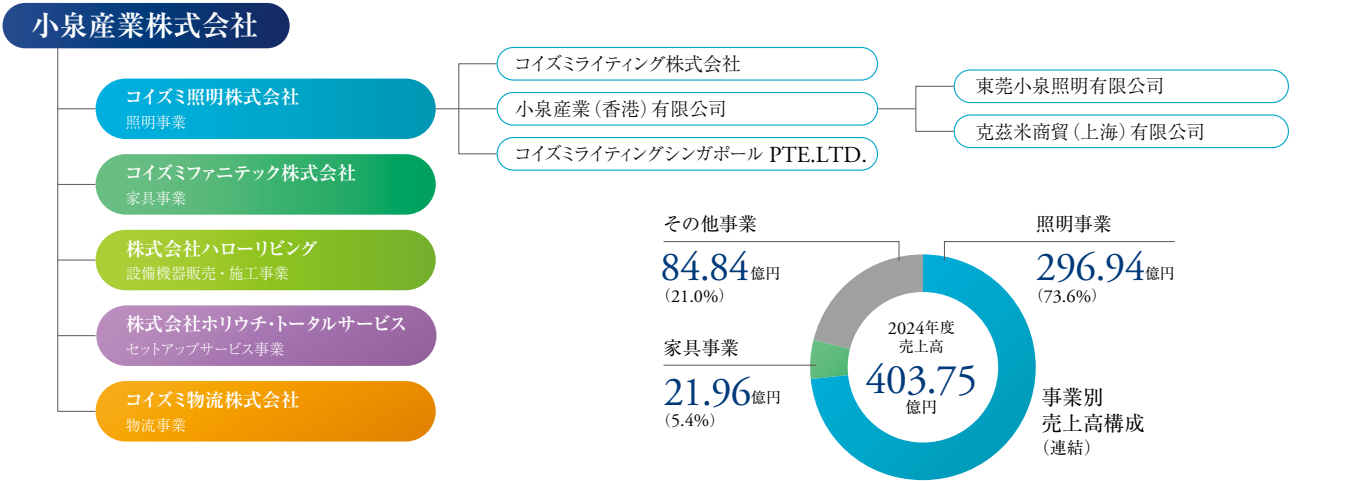
そんな感動とときめきをお届けするため、

私たちKOIZUMIは、常に発想力を磨き続けます。

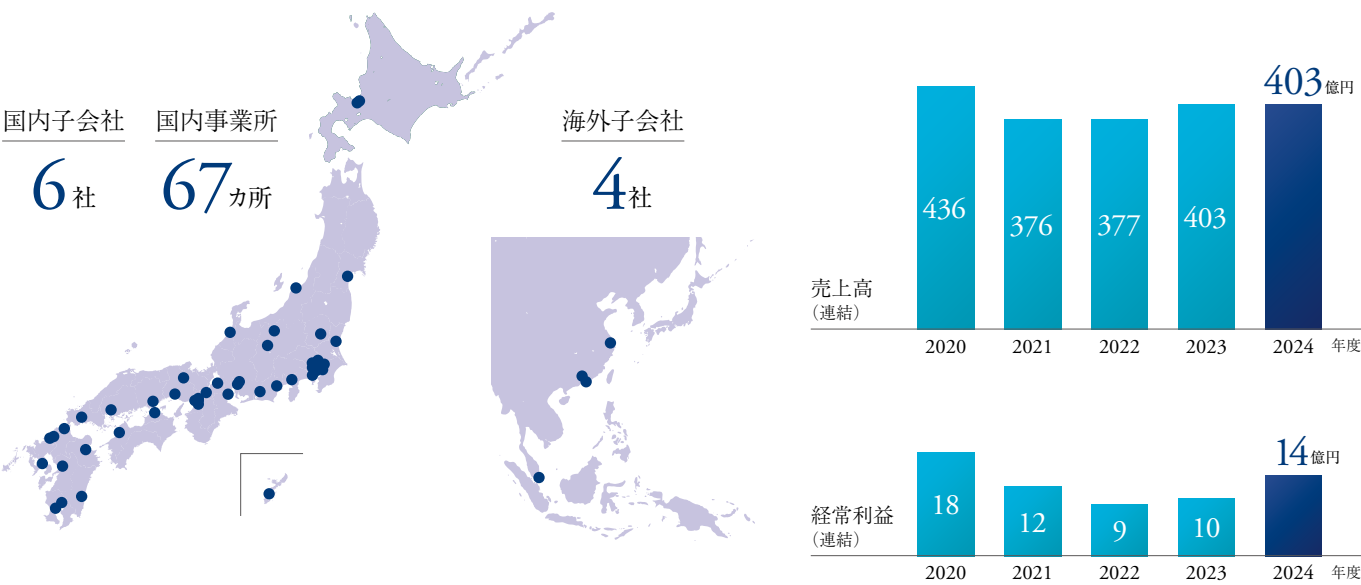
— 違う発想がある —

小泉産業グループ概要

グループの体制



国内ネットワークと海外ネットワーク



グループの理念

社 是	人格の育成向上
グループ経営理念	新しい着眼と独自の発想で新たな価値を創造し人と社会に夢と感動をつくり出します
グループ行動理念	●積極果敢にチャレンジし、目標を必達します ●自由活発なコミュニケーションを行い、明るく、元気に、同志とともに進みます ●互いに学び、人間力を高めます ●現場、現物、現象を基本に、お客様の課題を解決します ●三方よしの精神で、信用と信頼の向上を図ります ●社会規範を遵守し、地域、社会、地球環境に貢献します
グループビジョン	私たちは、ゆたかで快適な暮らしを提供する愛される“価値創造の専門集団”をめざします

グループ各社情報

小泉産業株式会社	本社所在地 代 表 者 創 業 設 立 資 本 金 従 業 員	〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7 代表取締役社長 矢本 博康 1716年（享保元年） 1943年6月25日 1,575百万円 グループ合計 1,409名 単体 58名
	事 業 内 容 子 会 社	持株会社 10社

会社名	本社所在地	代表者	従業員	事業内容
コイズミ照明株式会社	〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7	代表取締役社長 佐久間 晋	635名	照明器具の企画、開発、製造、販売
コイズミライティング株式会社	〒529-1512 滋賀県東近江市大塚町1289-2	代表取締役社長 宇野 正文	159名	照明器具の開発、製造
小泉産業（香港）有限公司	Units A-B, 26th Floor, 8 Hart Avenue, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong	董事長 杉本 健	19名	照明器具の企画、開発、製造、販売
東莞小泉照明有限公司	9F,Building 11, No. 2 West Lake Hot Spring South Road, ShilongTown, Dongguan City, Guangdong Province (2025年5月～)	董事長 杉本 健	161名	照明器具の開発設計・組立製造・販売 照明設計、品質管理等のコンサルティングサービス
克茲米商貿（上海）有限公司	2F 212, Apt.B, No.228 Wending Rd., Xuhui Dist., Shanghai 200030 P.R.C	董事長 植村 公平	42名	照明器具の企画、販売 他
コイズミライティングシンガポール PTE.LTD.	41 Ubi Crescent Singapore 408588	Director (CEO) Dave Wee	32名	照明器具、ランプ、照明器具部品の輸出入販売 照明デザインおよび電気工事
コイズミファニテック株式会社	〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7	代表取締役社長 若林 俊宏	43名	学習、書斎家具、寝具の企画、開発、製造、販売
株式会社ハローリビング	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-13-27 アイカビル8階	代表取締役社長 上原 正人	48名	住宅・店舗・施設の設備機器と インテリア商材の施工、販売
株式会社ホリウチ・トータルサービス	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル5階 (2025年5月～)	代表取締役社長 熊野 裕章	159名	ホテル・オフィス・商業施設等への家具・什器・ 設備等の搬入設置
コイズミ物流株式会社	〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7	代表取締役社長 赤松 長太郎	53名	グループ各社と外販得意先の輸配送、保管、荷役